

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 中山 長藤  
 直通：092-643-3597  
 内線：3066

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第32週（令和6年8月5日～令和6年8月11日）

福岡県感染症情報センター

### ■ コメント

- 第32週は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が3件ありました。本疾患は、3～8日の潜伏期間の後、激しい腹痛、頻回の水様便、血便などの症状が現れますが、感染しても発症しないこともあり、知らずに感染を広げることがあります。腸管出血性大腸菌は、食肉などに付着し、生肉や加熱不十分な肉を食べること等で感染します。調理をする際は、中心部まで十分に加熱（75℃以上で1分以上）するとともに、バーベキューなどでは、生肉専用の箸やトングを使い、食べる箸と使い分けましょう。また、患者の便等で汚染された手を介して人から人へ感染しますので、調理時、食事前、トイレやおむつ交換の後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ([https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	561	242	9,023
腸管出血性大腸菌感染症	3	96	131	1,645
デング熱	1	7	5	122
レジオネラ症	4	39	46	1,253
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	72	30	1,169
後天性免疫不全症候群	1	36	12	595
侵襲性肺炎球菌感染症	3	73	23	1,616
水痘（入院例）	2	18	11	282
梅毒	13	498	177	8,310
百日咳	1	56	55	901

### ■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,693	8.55	0.52	65,699	13.29
インフルエンザ	75	0.38	0.82	1,988	0.40
RSウイルス感染症	243	2.03	0.56	5,499	1.75
咽頭結膜熱	37	0.31	0.88	1,336	0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	385	3.21	0.69	6,382	2.03
感染性胃腸炎	267	2.23	0.61	8,772	2.79
水痘	9	0.08	0.26	490	0.16
手足口病（警報レベル）	571	4.76	0.54	30,037	9.57
伝染性紅斑	4	0.03	1.33	355	0.11
突発性発しん	33	0.28	0.75	837	0.27
ヘルパンギーナ	148	1.23	0.64	5,328	1.70
流行性耳下腺炎	5	0.04	1.25	95	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	11	0.02
流行性角結膜炎	2	0.08	0.50	368	0.53
細菌性髄膜炎	1	0.07	-	12	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	18	0.04
マイコプラズマ肺炎	12	0.80	1.00	457	0.95
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。